

平成27年度学校自己評価システムシート（県立深谷第一高等学校）

目指す学校像	1 広い視野を持ち自ら学び続ける意欲と態度を持った人間を育成する。 2 文化やスポーツを愛し、人と人との絆を大切に作る人間を育成する。
--------	--

重点目標	1 家庭学習を徹底し、主体的な学習習慣の確立を図る。 2 キャリア意識の向上と目標に向かって最大限の努力を促す進路指導を推進する。 3 部活動と生徒会活動をさらに活性化させる。 4 地域との連携や外部教育力の活用を通じ、教育活動をさらに充実させる。
------	---

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

※ 学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	9名
	生徒	5名
	事務局（教職員）	4名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						学 校 関 係 者 評 価			
年 度 目 標					年度評価（2月1日現在）			実施日 平成28年2月9日	
番	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等	
1	<p>【現状】 チャイム着席指導や学習態度の指導等により、基本的な学習習慣の確立と授業改善に向けた工夫改善を行っている。</p> <p>【課題】 学習習慣を確立させ、学習内容を確実に身につけるため、家庭と連携して、家庭学習に関する指導を推進する必要がある。</p>	学習習慣を確立させるとともに、学習内容を確実に身につけるため、家庭学習に関する指導に努める。	① 家庭学習を促す具体的指導の企画と実施 ② 生徒の授業への取組態度の向上 ③ 研究授業、教科内研修を行うことでの授業改善・指導力向上 ④ 「進路実現・学力向上重点推進校」指定事業の有効活用	① 家庭学習時間調査を実施するとともに、家庭学習と連鎖する授業の工夫改善により、家庭学習時間を増加させる。 ② チャイム着席の継続実施。 ③ 初任研を中心とした研究授業・授業公開と教科研修の推進。 ④ 県教委主催集合研修へ参加した生徒を中心に学校独自の取組を有機的に活用することにより、学校全体の学習意欲・学力を向上させる。	「進路実現・学力向上重点推進校」指定事業の内容について、全校生徒への啓発を意識し事業展開を図った。 ①指定事業参加者の発表会・講演会等を開催した。 ②授業研究支援訪問を2回開催し授業改善・資質向上を図った。	B	<p>【課題】 「進路実現・学力向上重点推進校」の事業展開による効果的な取組の検討が必要である。</p> <p>【改善策】 ①スコラ手帳の活用や言語活動の充実等の具現化を図る。 ②学習状況改善に向けてカリブ授業の活用など授業改善及び補習体制の充実を図る。</p>	・教員の先見性があるからこそ、授業改善や資質向上が図れるようになりつつあるのではないかと。 ・「続けるコツ」を身につけるとともに「大変なことを先にやる」よう心掛けて高校生活を送ってほしい。 ・家庭学習時間を増加させるために宿題や課題を課すことは一つの方法であるが、高校としては自主的学習を実現したい。	
2	<p>【現状】 スタディサポートの導入など、生徒が自己の在り方生き方を考えて、主体的に進路選択ができる取組を行っている。</p> <p>【課題】 3年間を見通した進路指導計画の見直し・改善を図るなど、生徒一人一人のキャリア発達への支援に取り組んでいく必要がある。</p>	キャリア発達を促す教育を推進するとともに、生徒の進路への関心・意欲を向上させる。	① 学年間の連携によるキャリア教育の実施 ② ガイダンス機能の充実 ③ 個別指導の工夫 ④ 「進路の手引き」の活用 ⑤ 「一般受験対応クラス」の運営の充実 ⑥ 組織的な進学補習の実施	① キャリア教育の視点で3年間を見通した進路指導計画の策定、進路指導の実施 ② 分野別ガイダンス年間5回以上実施や進路体験発表会等の充実 ③ 個別の進路相談、面接指導の充実により、現役進路決定率95%以上を目指す。 ④ 総学において「進路の手引き」を活用 ⑤ 一般受験対応クラスの進路実績の向上 ⑥ 進学補習を年50講座以上の開設	キャリア意識の向上及び学習意欲の喚起による学力向上を図った。 ①アドバイザーの活用及び進学補習の充実による進学支援を推進した。 ②学習状況調査を2回実施し改善に向けた対応を検討した。	A	<p>【課題】 学校自己評価システムを有効に活用できるよう、教科・学年・分掌の評価シートの作成及び具体性を意識する必要がある。</p> <p>【改善策】 ①県教委指定事業の活用により、進路啓発の充実を図る。 ②進学支援の推進を図る。</p>	・生徒の夢や進路希望を叶えてあげるためにもキャリア教育を充実していく必要がある。 ・センター試験の改訂への取組を早めにしていく必要があるのではないかと。 ・一般受験による大学合格実績に期待がもてそうである。今後も期待したい。	
3	<p>【現状】 集団や社会の一員としての自覚と責任を深め、望ましい人間関係が形成できるよう、部活動と学校行事等の活性化を図っている。</p> <p>【課題】 部活動や生徒会活動を活性化するため、全教職員の共通理解のもと、組織的・計画的・継続的に推進する必要がある。</p>	部活動の活性化を図るとともに、心身の調和のとれた発達と個性の伸張を図る。	① 部活動指導の一層の充実 ② 学校行事の充実と発展 ③ 遅刻指導と清掃指導の徹底 ④ ルールとマナー指導の徹底 ⑤ 安全指導の推進	① 1年生全員加入と定着率の向上 ② 文化祭等行事の自主的運営 ③ 遅刻指導対象者「0」 ④ 服装等違反者「0」と登下校時の安全指導の充実 ⑤ 5回の登校指導を通じ自転車マナーの向上	企画委員会を学校運営の中核的機関として協議等を進行し、意見集約と協力体制のもと、学校運営を実施した。 ①創立110周年事業実行委員会の設置及び事業計画を立案した。 ②目の健康講演会及び自転車安全運転講習会(スタート・ストリート)・携帯電話等講習会を開催した。	B	<p>【課題】 創立110周年を見据えて、早期の事業展開を想定し、組織編成及び記念事業の検討を積極的に推進する必要がある。</p> <p>【改善策】 ①保護者との連携強化並びにPTA活動の活性化を図る。 ②学校運営上の内規及び会計等の適正化に向けた見直しを図る。 ③社会ルール遵守への意識醸成に向けた取組を推進する。</p>	・生徒が真面目に授業を受けている様子は好ましい。将来の夢や志を大切に高校生活を送ってほしい。 ・生徒の伸びしろは大きいものがあるので、更なる指導をお願いしたい。 ・部活動の実績には輝かしいものがある。更なる活躍に期待したい。 ・自転車のマナー向上に一層取り組んでほしい。 ・地元の幼・小・中・高が連携し、交通事故防止や挨拶あふれる街づくりに取り組んでほしい。	
4	<p>【現状】 広報の充実により、地域からの評価は高く、保護者・地域・中学生からの本校に対する期待は非常に大きい。</p> <p>【課題】 ホームページの充実や生徒募集に向けた体制づくりなど、一層の改善を図る必要がある。</p>	生徒募集のための広報活動等を充実させるとともに、校内外の美化を推進する。	① 校内外における学校説明会の充実 ② ホームページ等による「教育活動等」の情報発信の充実 ③ 保護者への情報提供 ④ 積極的な地域活動への参加 ⑤ 外部教育力の活用 ⑥ 校内外の美化活動推進	① 学校説明会、個別相談会の開催とネット参加申し込みの実施 ② ホームページの更新と広報紙「ときわ樹だより」の発行 ③ 「深一高お知らせメール」を50件以上発信し、学校行事の情報を提供する ④ 地元小学校との交流の実施や深谷市関連行事への積極的な参加 ⑤ 学校評議員会・評価懇話会の活性化、授業研究支援訪問等の活用 ⑥ 生徒、PTAによる美化活動を年間5回以上実施	学校案内及びフリーレットの作成配布による本校教育活動の広報を推進し、進学希望者の増加を図った。 ①1月13日現在の本校への進学希望者の競争率は1.21倍で、前年の1.11倍を上回った。 ②各種情報提供の実施メール登録81.9%・通知52回・学校HP更新による情報発信を150回おこなった。 ③主権者教育について校長講話及び授業において実施した。	A	<p>【課題】 学校評価懇話会等の意見の教育活動への活用について検討・推進する必要がある。</p> <p>【改善策】 ①公職選挙法の18歳選挙権付与に関して主権者教育を実施する。 ②深谷市主催行事等へ参加協力し地域に貢献する。 ③SC・SSWと連携し保護者等への対応及び生徒理解を推進する。</p>	・受検希望者の増加は誠に喜ばしいことである。ホームページの充実や生徒募集に向けた体制づくり。さらには「進路実現・学力向上重点推進校」の指定事業の成果ではないかと。来年度に向け一層期待している。 ・かつての御校のイメージが払拭されつつあり、今後のさらなる活躍に期待したい。 ・小学校との交流事業は、子供だけでなく教員にとっても良い影響を与えており、今後も継続していただきたい。 ・早朝から小学校の通学路を清掃していただき感謝申し上げます。	

